

朝日町教育委員会10月定例会会議録

1 日 時

令和7年10月28日（火）午前9時22分から午前10時15分まで

2 場 所

朝日町エコミュージアムコアセンター「創造館」会議室

3 出席委員

教 育 長	堀 俊一	(以下「教育長」という。)
1 番 委 員	五十嵐 義一	(以下「議長」という。) 職務代理者
2 番 委 員	井上 幸弘	(以下「2番委員」という。)
3 番 委 員	橋間 博美	(以下「3番委員」という。)
4 番 委 員	海野 瞳	(以下「4番委員」という。)

4 職務のため出席した者の職氏名

教 育 文 化 課 長	早坂 健一	(以下「課長」という。)
主 幹	鈴木 誠	(以下「主幹」という。)
課長補佐兼学校教育係長	菊地 早百合	(以下「菊地補佐」という。) 書記
課長補佐	佐々木 直美	(以下「佐々木補佐」という。)
課長補佐兼室長補佐	海野 裕喜	(以下「海野補佐」という。)
指導主事	齊藤 絵里	(以下「指導主事」という。)
生涯学習係長	白田 淳	(以下「白田係長」という。)
義務教育学校創設準備室係長	菅井 宏支	(以下「菅井係長」という。)

5 会 議

① 開 会

課長より、開会宣言

② あいさつ

教育長より、あいさつ

③ 会議録署名委員指名

課長より、3番委員を指名したい旨を諮り委員全員が了承

④ 前回の会議録確認

議長より、9月定例会の会議録について質疑の有無を確認し、委員に諮り全委員が異議なく承認

⑤ 教育長委任事項報告

教育長 - 日程的な事項及び当面の日程について報告

議長 - 報告について質疑・意見の有無を確認

議長 - 今回の青少年健全育成大会は非常にいい内容だったのだが、聴衆者が少なかった。以前は区長、公民館の主事など地区から3人とか動員があったのだが、今はそういうったのはないのか

白田係長 - 区長や各公民館の館長や主事などの動員はお願いしているが、出欠はとっていない。PR不足であった。今後に活かしていきたい

議長 - 区の研修旅行等も、以前は自分たちが決めたことであり、義務と思って参加し

たが、今は中部、西部、北部で各5名ほどの参加と聞いている。ここ10年くらいで町に対する考え方方がおかしいと感じる。なにか対策を考えないといけないと思う

⑥ 報告事項

- 主 幹 - 令和7年度山形県中学校新人総合体育大会（県南ブロック）成績について報告
議 長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）
白田係長 - 第42回アップル町民駅伝競走大会 荒天による中止について報告
議 長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）
白田係長 - 健康スポーツマルシェ「みんなで遊びタイト」の開催状況について報告
議 長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）
白田係長 - 令和7年度朝日町青少年健全育成町民大会の開催状況について報告
議 長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）
- 海野 補佐長事
菅井 指導係長事
- 義務教育学校の進捗状況について報告
- 3番委員 - 資料では造成に2年とあるが、造成工事に向けた準備は順調なのか、いつ頃から工事が始まるのか
菅井係長 - 造成について11月中に設計業務、数量や図面の提出での完了予定。順調である。造成工事の入札は2月上旬頃予定し、議会議決後に契約、3月下旬頃から着工になる予定
2番委員 - プロポーザルは金額含みの提案だが、この金額ができるわけがない。提案はわくわくする内容だが、予算は他学校と比べ半分、建設費をどのくらいまで見込んでいるのか。町としてどこまで対応できるのか
菅井係長 - 事業費について大変厳しい状況である。プロポーザル時点のヒヤリングの際に他者にも聞いて厳しいと言われている。今後、打ち合わせやワークショップを重ねていく中で、縮減のことや町と予算面で協議していく、いい学校施設となるように進めていきたい
2番委員 - 提案は中身のあるいい内容だが、町の年間予算などの規模、提案されたものが本当にできるのか
課 長 - 菅井から回答あったとおり、提案書は金額を設けての厳しい中でいただいた。やれるところやれないところ、必要ないところを切ったり、最低限必要なものを入れたり、また稼働率を高められるよう部屋を兼ねられるところは兼ねる施設として設計の段階で進めていく。議会でも質問されていることろであり、建築単価が厳しいのは誰もが思うところ。財政当局との話し合いになるがどこまでの金額にするかは詰めていく
2番委員 - 提案書は工夫してあるし、無駄のない魅力的な中身だと思う。こういうところで子どもたちに学んでほしいし、先生方にも働いてほしいと思う。どこまで削れるのか疑問というか心配である
教 育 長 - 私も一番心配しているのが予算関係である。あとからになってなんでこんなもの建てたんだと言われないようにしたい。あさひ未来学園を創設することが新しいまちづくりのターニングポイントと考えれば、無限にお金があるわけではないし、国庫補助金の他は借金なわけで、どのようにするかはこれからだが、30人学級想定の教室は、開校当時2クラスがあるがそれ以降は最大で20人くらいで教室の大きさ一つとっても当初の基本計画に載せていたものから考えるとちょっとずつの節約が建設費に大きく関わってくる。ミニマルにしてなおかつ私達が目指しているようなものにしたい。詰めるところ、技術的なところはこ

これから設計業者と協議し、できるかぎり予算の方に寄せていいきたいと考えているところである。施工業者が誰も手を挙げないとかならないように、現実に合わせつつ理想をどこまで保っていけるか。ワークショップでいただいた意見を聞けば聞くほど、どんどんと予算が膨らんでいくことは間違いない。住民の皆さんからは理想を語っていただきながらも、教育委員会では現実にすり合わせる、こうすれば可能になるなどの意見が出るワークショップになればいい

- 白田係長 - 第71回西村山地区駅伝競走大会について報告
議長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）
白田係長 - 第41回山形県女子駅伝競走大会について報告
議長 - 報告について質疑・意見の有無を確認（質疑・意見なし）

⑦ 協議事項

- 議長 - あさひ保育園訪問について説明を求めた
主幹 - 日時及内容について説明し、協議を求めた
議長 - 質疑及び意見が無いうえで事務局案のとおり決定
議長 - 令和7年教育委員会11月定例会の日程について説明を求めた
課長 - 日時及び会場について提案し、協議を求めた
議長 - 質疑及び意見が無いうえで事務局案のとおり決定
議長 - その他について意見等がないか確認（質疑・意見なし）

⑧ 閉会

課長より、閉会宣言、午前10時15分 10月定例会の会議を閉会

会議録署名委員 橋間博美

教 育 長 堀 俊一

調 整 職 員 菊地早百合